

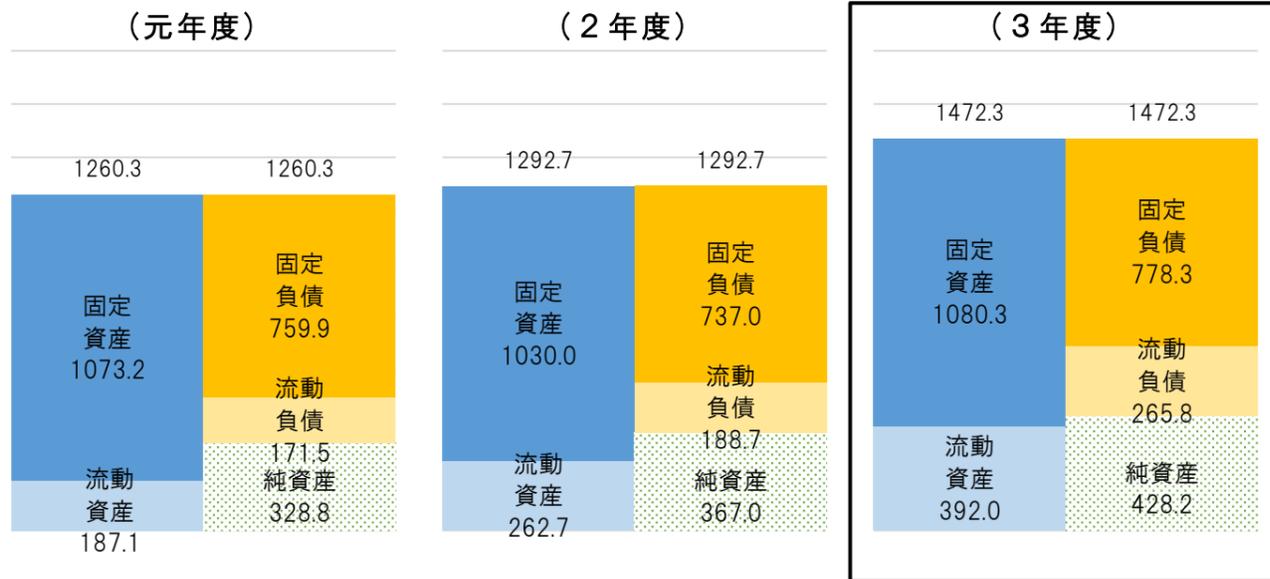
地方独立行政法人大阪府立病院機構 令和3年度決算のポイント（損益ベース）

I 財政状態（貸借対照表より）

- 1 資産合計額は1,472.3億円（前年度比+179.6億円）
⇒ うち土地、建物、器械備品等の有形固定資産は993.0億円（前年度比+15.4億円）
- 2 負債合計額は1,044.2億円（前年度比+118.5億円）
⇒ うち大阪府からの長期借入金残高は526.2億円（前年度比+26.3億円）

■ 貸借対照表の推移

（億円）



■ 主な項目の増減(前年比)（億円）

資産の部	負債の部
土地 380.3 (+0.0)	資産見返負債 45.9 (▲1.4)
建物 434.4 (▲19.4)	長期借入金 489.8 (+34.7)
器械備品 111.1 (▲7.3)	リース債務 37.3 (+4.5)
建設仮勘定 48.1 (+42.3)	一年以内返済長期借入金 36.4 (▲8.4)
現金及び預金 182.6 (+126.7)	医業未払金 47.6 (+22.1)
医業未収金 170.0 (+23.2)	未払金 122.7 (+64.0)

■ 長期借入金残高推移

（億円）

	元年度	2年度	3年度	増減
長期借入金	515.2	499.9	526.2	+26.3
移行前分	14.9	10.3	6.0	▲4.3

■ 純資産の内訳

（億円）

	元年度	2年度	3年度	増減
資本金	213.0	213.0	213.0	なし
資本剰余金	184.2	184.2	184.2	なし
利益剰余金	▲68.4	▲30.2	31.0	+61.1
計	328.8	367.0	428.2	+61.1

II 経営成績（損益計算書より）

- 1 本業の売上高を示す『医業収益』は840.5億円（前年度比+35.0億円）
- 2 本業の儲けを示す『営業損益』は101.1億円（前年度比+23.1億円）
- 3 営業損益に利息の支払い等を含めた『経常損益』は61.9億円（前年度比+22.1億円）
- 4 最終的な儲けを示す『当期総損益』は61.1億円（前年度比+22.9億円）

■ 主な項目の推移

（億円）

	元年度	2年度	3年度	増減
医業収益	838.3	805.5	840.5	35.0
運営費負担金収益	82.0	81.1	80.7	▲0.4
補助金等収益	1.8	92.2	114.5	22.4
営業収益	926.4	984.3	1043.6	59.2
給与費	410.8	422.2	430.1	7.8
材料費	258.0	247.6	260.0	12.3
減価償却費	88.3	86.4	85.4	▲1.0
経費	122.7	130.7	149.7	19.1
医業費用	888.8	895.7	934.4	38.6
営業費用	897.5	906.3	942.4	36.2
営業損益	28.9	78.1	101.1	23.1
営業外収益	8.4	7.6	8.0	0.4
財務費用[利息]	2.8	2.5	2.2	▲0.3
控除対象外消費税	35.3	38.9	40.2	1.3
営業外費用	42.7	45.9	47.2	1.3
経常損益	▲5.4	39.7	61.9	22.1
臨時利益	0.4	0.0	0.0	0.0
臨時損失	4.8	1.5	0.7	▲0.8
当期総損益	▲9.9	38.2	61.1	22.9

収益面

- 医業収益**
- ▶ コロナ患者受入れ等による診療単価の向上や外来患者数の回復に伴い、増収。
- 補助金等収益**
- ▶ 新型コロナ患者受入れに伴う補助金等収益の増加。(110.4億円)

費用面

- 給与費（医業費用）**
- ▶ 応援医師、レジデントや地域手当の増加
- 材料費（医業費用）**
- ▶ 高額薬剤、通常医療患者の増加に伴う材料費の増
- 経費（医業費用）**
- ▶ 大阪コロナ重症センター収入超過額の返還、委託料の増

■ 経営指標(主なもの) (%)

	元	2	3
給与費比率	49.5	52.9	51.6
材料費比率	30.8	30.7	30.9
経常収支比率	99.4	104.2	106.3
医業収支比率	93.4	88.9	89.2

概況

- ▶ 営業損益では、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による診療制限の影響があったものの、収益面はコロナ患者受入れ等による診療単価の向上や外来患者数の回復に伴い、入院及び外来ともに増収、費用面では高額薬剤の購入等による材料費や委託料などの経費の増加、地域手当引上げなどによる給与費の増加などにより、医業収支差は悪化。新型コロナ患者の受入れに伴う空床補償などの補助金等収益により営業損益は黒字となったものの、本業の経営状況は新型コロナ流行前の水準には戻っていない。
- ▶ 利息や消費税の支払いなどの営業外費用を加味した経常損益でも、61.9億円の利益を計上している。(前年度比22.1億円増)

III キャッシュフロー

（億円）

	期首残高	業務活動	投資活動	財務活動	期末残高	資金増加(▲減少)
元年度	26.8	67.7	▲25.6	▲48.1	20.9	▲6.0
2年度	20.9	107.5	▲31.0	▲41.6	55.8	35.0
3年度	55.8	173.5	▲47.7	0.9	182.6	126.7

IV 行政サービス実施コスト

（億円）

	元年度	2年度	3年度
行政サービス実施コスト	100.3	142.3	143.7
[参考] 運営費負担金収益	83.4	82.3	81.8

- ▶ 法人の業務運営に関し、最終的に住民等の負担となるすべてのコストを集約し、表示したもの。
- ▶ 行政からの運営費負担金、補助金をはじめ、減免にかかるコスト等が含まれる。